

《Japan Tariff Association》

関税メーブルプレス

(No.469) 2017.6.20

発行元：日本関税協会 長崎支部

:095-825-0557

Fax:095-825-1748

<http://www.kanzei.or.jp/nagasaki/>

平成29年度定時支部総会等を開催しました

6月9日(金)、長崎市の「ザ・ホテル長崎」で平成29年度定時幹事会・支部総会・講演会が開催されました。

定時幹事会では、平成28年度事業報告・決算報告、平成29年度事業計画・予算案についての審議が行われ、満場一致で原案どおり承認されました。



[定時幹事会での審議]

引き続き開催された総会には、本部から富永総務部長をお迎えし、各地区から約130名の会員の皆様にご出席いただきました。

冒頭、宮脇支部長から昨年4月の熊本地震発生により国際的なモノやヒトの流れに影響が現れていたが、復興に向け官民一体となった懸命の取り組みが続けられ少しずつ明るい兆しが見えてきており、引き続き息の長い支援により一日も早い再生を願っている。申告官署の自由化等の貿易円滑化に向けた改革や、EPAなどの関税を巡る国際的な動きは、経済活動や国民生活に影響を与えるため、関係者等の関心が高まっている。タイムリーな情報提供等の各種事業を引き続き積極的に展開していく。」旨の挨拶が行われました。



[宮脇支部長の開催挨拶]

講演会は、長崎大学経済学部教授の鶴田 仁氏を講師にお迎えし、「最近の国際経済の動向～保護主義と自由貿易～」について講演をいただきました。

分かりやすい講師の解説に会場を埋め尽くした会員の皆様は、熱心に聴講され好評を博しました。

長崎税関幹部の方々にもご出席いただいた懇談会は、郡山税関長のご挨拶で始まり、終始和やかな雰囲気の中会員相互の懇親が深められ、三池港物流(株)代表取締役社長 谷川副支部長の中締めで盛会のうちに幕を閉じました。



[沢山の方にご出席いただいた支部総会]